

I 経済の活性化

1 産業構造の改革

1 意欲ある企業・起業家への重点支援と 県内消費の拡大

主担当部局長名
産業・雇用振興部長 森田 康文



北米最大級の展示商談会
(ニューヨークNOW)

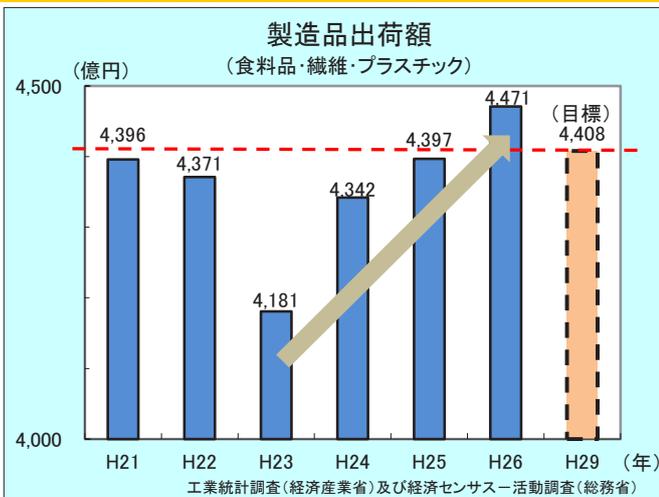
目指す姿

新しい産業を創り、また地域産業を伸ばすための産業支援を行うことにより、「起業の促進」や「しごと創生」を図り、経済を活性化させることで、奈良でくらし、奈良で働くことができ、経済が県内で好循環する社会を目指します。

これまでの成果

- ・クラウドファンディングを活用して新事業展開に取り組む企業を支援するため、14の金融機関と連携・協力して案件の発掘や計画のブラッシュアップ等を行い、2社を応援企業に認定しました。また、海外への販路拡大について、「ニューヨークNOW」への出展支援(5社)のほか、新たに海外見本市への単独出展支援(4社)、海外販売拠点の立ち上げ・テスト販売支援(2社)を行う等により、県内企業が積極的に海外をターゲットに市場拡大しています。
- ・県内で消費を喚起するため、「せんとくんプレミアム商品券」36万冊と「奈良県南部・東部地域プレミアム商品券」4万冊を発行したことにより、試算上、約22億円の消費喚起効果、約9億円の県外消費流出抑制効果がありました。

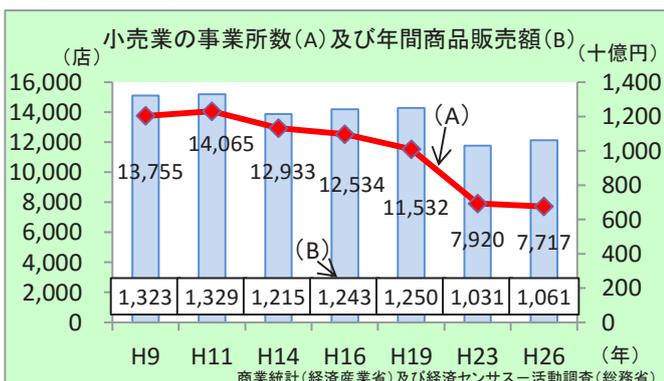
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	製造品出荷額を平成29年度までに66億円アップします。(H29年度目標額:4,408億円)(H24年度:4,342億円)
取組	付加価値の高い県内産業の体質強化に取り組みました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングを活用して新たなファンの獲得を目指す中小企業に対する支援、海外販売拠点の立ち上げを目指す企業に対する支援を行いました。 ・製造品出荷額(食料品・繊維・プラスチック)は、平成23年以降毎年増加しており、平成26年は4,471億円となり、目標の4,408億円(H29年度)を上回りました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<ul style="list-style-type: none"> ①企業の新商品開発に関して、平成27年度から平成29年度までの3年間で54件支援します。 ②県から「魅力あるお店」の認定を受けた飲食店の数を平成27年度から平成29年度までの3年間で12店舗増やします。
------	--



取組	消費地としての奈良の魅力向上に取り組みました。(②)
成果	小売業の事業所数は減少していますが、「魅力あるお店づくりセミナー」の開催やプレミアム商品券の発行等により、平成26年の年間商品販売額は1兆610億円で、平成23年から約300億円増加しました。